

伝統的構法木造住宅の実大振動実験が始まりました !

一昨年、長期優良住宅仕様とそれより金物等が少なく構造の安定が低いと見られた同じ大きさの3階建て住宅の公開振動実験で、長期優良住宅の方が倒壊して、物議をかもしましたが、去る1月20、21日、伝統的構法による木造2階建ての住宅（構造材の接合は伝統的な仕口、基礎は石場建て構法、瓦は日本瓦葺き）を長手方向、短手方向、最後に3方向からの巨大地震規模の加震を行いました。

結果は、最初、接合部がかなり大きな音を立ててきしんだが、構造部に目立った損傷は無く、一部の束が斜めにゆがんだ程度、土塗り壁も1階部で亀裂が入った程度で建物は高い復元力を示したそうです。また、柱脚の滑りは4~5cm程度だったようです。

今後、3棟ほど条件を変えて実験をし、石場建てが、耐震性能にどのような影響を与えるか調べるそうです。石場建ての神社仏閣や堂棟等が千年以上倒れずに残っているという事実によりややく目を向けるようになったことはうれしいことですね。

木造住宅検定が始まります !

木造住宅の意匠設計や架構設計を対象にした「木造住宅検定」が任意の制度として始まりました。本制度は林野庁や国土交通省共同の「木のまち・木のいえ担い手育成拠点整備事業」の認定を受けて行われます。

意匠設計者向けの「木造住宅設計検定」プレカット工場のCAD担当者向けの「木造住宅架構検定」の2つがあります。1、2階の柱、壁位置が一致する「直下率」や「オーバーハングの制限」など指標を元に行われます。

1月26日より初回の講習会はスタートしましたが、詳しくは下記ホームページでご確認ください。
(<http://www.yourhome-labo.jp/>)

【情報】

* 「地域研修会及び合法木材流通促進研修会」が開催されます

日時	2月9日(水)	9:30~15:00
場所	かごしま県民交流センター	
内容	・ 木材強度の機械等級区分 ・ 合法木材について ・ 木材利用促進法について ・ 合法性等の証明精度について ・ モーリング調査結果について	
問合せ先	県木連	Tel.099-267-5681



【定休日】

2月は6, 11, 13, 19, 20, 26, 27日となります

3月は5, 6, 12, 13, 19, 20, 21, 27日となります

宜しく申し上げます。

(平成19年10月 公開実験で倒壊した長期優良住宅)

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)